

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
基礎はりきゅう学12							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
鍼灸学科・昼間部	2年	4期	西野 祐介				
分野区分	教育課程		講義形式	単位	コマ数		
専門分野	基礎はり学 基礎きゅう学		座学	1	10		
科目概要							
はりきゅう理論 教科書 P69～P137までの範囲について学ぶ。 鍼灸治効を理解するために必要な基礎知識、とくに痛覚、温度覚、固有感覚、また炎症のメカニズムや火傷、鍼灸治効機序と臨床の関係について学ぶ。							
目標							
一般目標(GIO) 本講義を学習することで達成されるべき目標	鍼灸の臨床において安全かつ効果的に施術できるため、また鍼灸師に必要な鍼灸治効を理解するための痛覚、温度覚、固有感覚について理解する。また、鍼灸治効機序と臨床との関係について理解する。						
	到達目標(SBO) 一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)	①痛覚、温度覚、固有感覚などについて理解し、4択問題で正答を選択できる。 ②鍼灸治効機序について理解し、4択問題で正答を選択できる。 ③鍼灸治効機序と臨床との関係について理解する。					
履修に必要な予備知識や技能							
解剖学・生理学							
教科書・参考書							
はりきゅう理論							
受講上の注意							
生理学、解剖学で学んだ知識が必要になる場合もあります。 説明を入れることもありますが、あやふやな所や覚えていない所はぜひ自身で調べてみましょう。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	8章 感覚 痛覚1			p69～72	プリント 筆記用具		
第2回	8章 感覚 痛覚2 温度覚			p73～p78	プリント 筆記用具		
第3回	8章 感覚 触圧覚～内臓感覚			p78～p82	プリント 筆記用具		
第4回	8章 熱傷・体表の反応			p83～p93	プリント 筆記用具		
第5回	9章 鍼灸治効機序 鍼鎮痛 鍼鎮痛の概要～広汎性侵害抑制調節(DNIC)			p95～p101	プリント 筆記用具		
第6回	9章 鍼灸治効機序 内因性痛覚抑制系 9章 鍼灸治効機序 循環系と鍼灸			p102～p110	プリント 筆記用具		
第7回	9章 鍼灸治効機序 筋循環・運動系・消化器系・泌尿器系と鍼			p111～p116	プリント 筆記用具		
第8回	9章 鍼灸治効機序 リラクゼーションと鍼灸 9章 鍼灸治効機序 生体防御系と鍼灸			p117～p121	プリント 筆記用具		
第9回	10章 鍼灸治効機序と臨床の接点			p129～p137	プリント 筆記用具		
第10回	定期試験						
実務経験と本講義との関連について							
メールアドレス							
nishino@nihonisen.ac.jp							